

岸田政権の「敵基地攻撃」大軍拡（安保3文書）で京都はどうなる

－身近なところで何が起きているのか－

「台湾有事」はあるのか「戦う覚悟」は？

日本防衛・安全保障なのか？日米同盟+QUAD+NATOの対中国包囲網への参戦
しかし、アメリカはイスラエル擁護を優先、ロシアを弱め、中国を抑える

国家総動員の戦争する国づくり

FMS方式で武器爆買い、疲弊する軍需産業には共同開発で武器輸出の道 最後は「工場」化
「国の防衛」というわりに国防の考えや用兵の思想もない、あるのは日米同盟

政府は「米国に見捨てられないように、戦争に巻き込まれないように」願うだけ？

ex.全土で低空飛行を「合意」～CV22「不時着水」～墜落～飛行停止～生産終了…どうする日本

「粘り強くたたかう自衛隊」

IAMD、EABO、ISRT、SiFとは・・・どこと、いつまで戦うのか、そのとき国民は
食糧・肥料・飼料・燃料などが枯渇して島国日本は滅ぶのか

わたしたちにとっての安全保障は？

「国民保護」戦争被害に補償はない・・・国が補償するとなれば戦争抑止にも

「強靱化」「持続性（継戦能力）」

戦争法は安保法制だけではない 身近な基地が出撃基地に、要塞化？

「反戦デモ」「報道」を敵視する自衛隊・・・住民を調査・監視、何を守るのか

自衛隊の実態・・・装備・弾薬より人（人的基盤の強化）

法定受託事務と地方自治・・・募集業務、重要土地等調査法などで住民情報提供！？

戦争協力事務をしない自治体を

戦争準備ではなく平和の創造を

ウクライナ、ガザ・・・

核兵器廃絶は現実的な課題

気候危機、水質汚染・・・PFAS、COD

物価高、コロナ、・・・何兆円も軍備にかけるより安上がりな外交を

ASEANのような信頼醸成、予防外交、紛争解決へ

「どっちにもつかない日本」・・・憲法9条をもつ戦争被爆国という「ブランド」

全方位外交（非同盟）、核廃絶、戦争責任と戦後補償、武器輸出と海外派兵の禁止など

※関連の画像資料は「京都平和委員会」のHPに掲載（随時更新）しております。

シリーズ

強化される

米軍・自衛隊基地

京都平和委員会理事長

片岡 明さん



京都府北部の経ヶ岬（京丹後市）には米陸軍のXバンドレーダーの部隊が配備されています。これは、統合防空ミサイル防衛（IAMD）の拠点として、敵基地攻撃能力を含む、攻撃目標の識別―部隊・戦力の派遣―攻撃の決断・命令―目標の破壊という「キルチェーン」が始まるミサイル迎撃と反撃のための基地と言われています。

すでに整備進む

海上自衛隊舞鶴基地（舞鶴市）は、海自イージス艦が巡航ミサイル「トマホーク」を

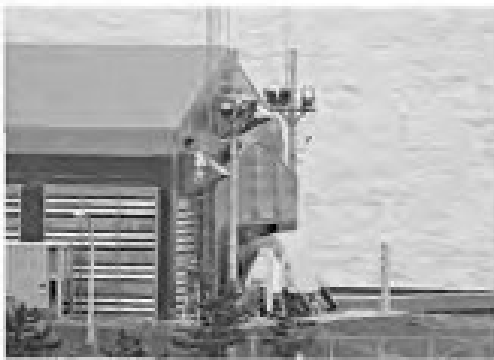
装備し、迎撃ミサイルSM3も積んで出撃していく危険が高まっています。すでに海自が、対外有償軍事援助（FMS）方式で雇った米軍属扱いのレイセオン社員が、SM3を保管・整備する「US Only Area（米国専用区域）」が設置され、横浜ノース・ドックから米軍のミサ

敵基地攻撃の“起点”

イル追跡艦が2カ月間、駐留しました。

福知山市では陸上自衛隊第7普通科連隊が米軍のレーダー基地を警護する任務を負っています。北部の自衛隊基地は日米一体化しています。

京都府南部には後方支援・兵站（へいたん）支援基地がたくさんあります。祝園（ほろその）弾薬庫（精華町）に長距離ミサイルなどが置かれるようになるのではないかと、3月には現地で学習会を



経ヶ岬に配備された米陸軍のXバンドレーダー―京都府京丹後市（京都平和委員会提供）

開催しました。「安保3文書」には地対艦ミサイルや離島防衛のミサイル部隊がつくられると書かれています。長距離化した大型ミサイルが弾薬庫に隠されるといふことにもなるのではと、周辺の住民から不安の声が上がっています。

名簿提供13万超

京都市は今年で5回目になる自衛官募集対象者の名簿提供を行いました。毎年約2万5000人分を自衛隊に渡し、合計で13万1000人にもほる異常な状況です。パワハラやセクハラなど人権侵害が問題になり、自殺、中途退職や任意拒否が続出する自衛隊に自治体が協力しているのかと、市に中止を要請しました。

平和委員会として京都の米軍・自衛隊基地が「安保3文書」で進めようとしている危険な基地強化の実態を住民に知らせるとりくみを強めていきたい。